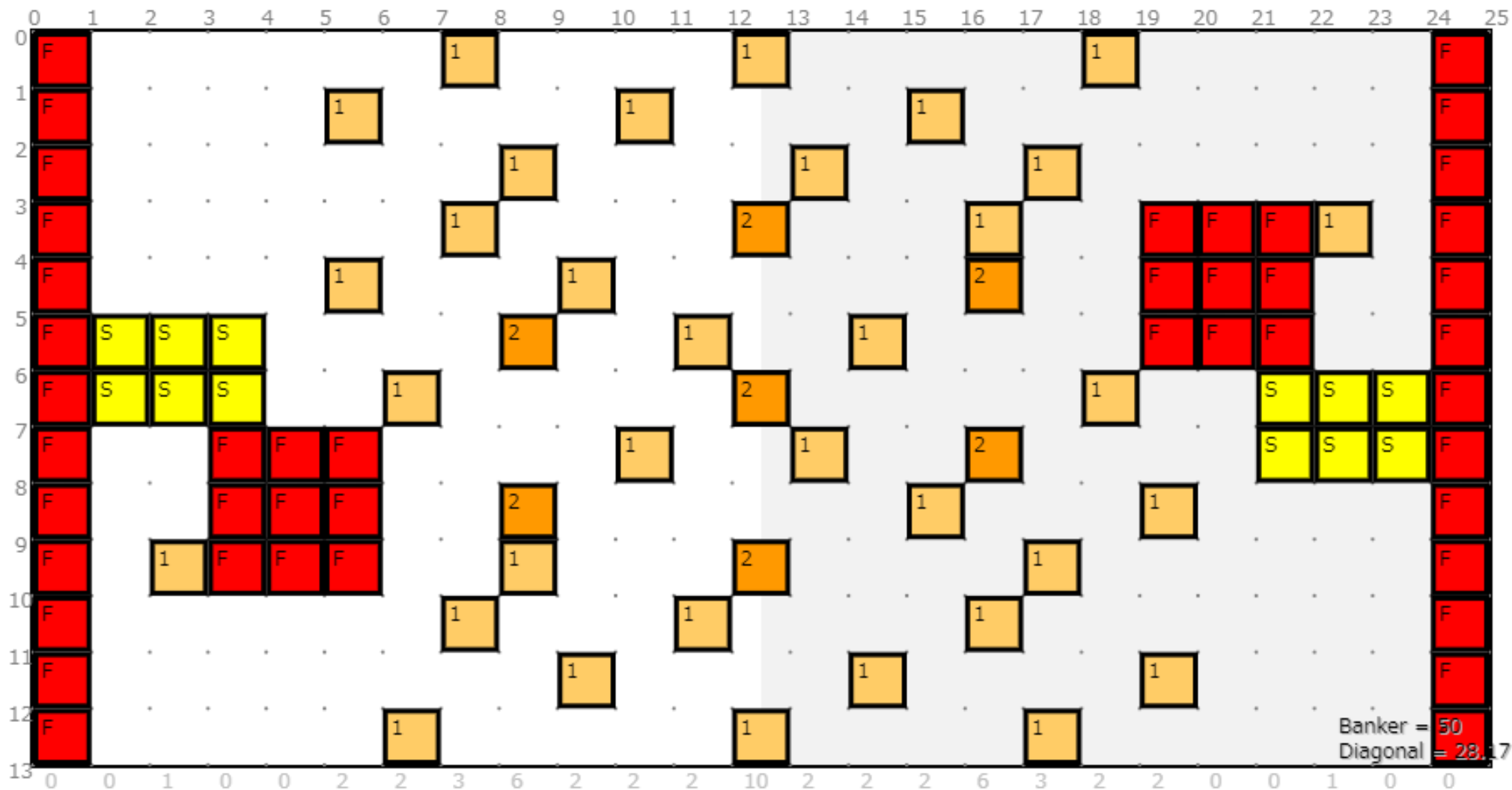




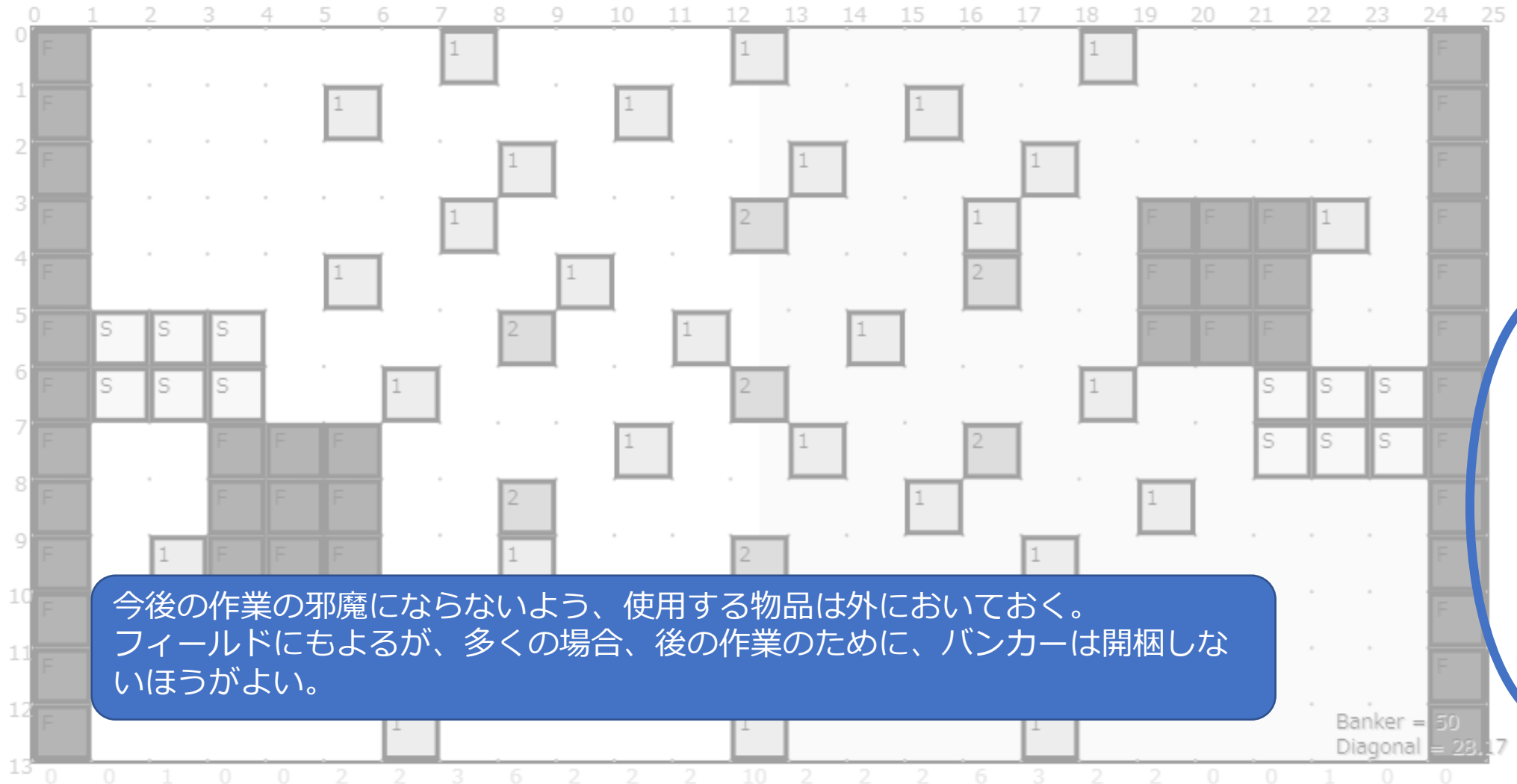
FLAGHUNT

Japan FLAGHUNT Association
フィールド設営方法

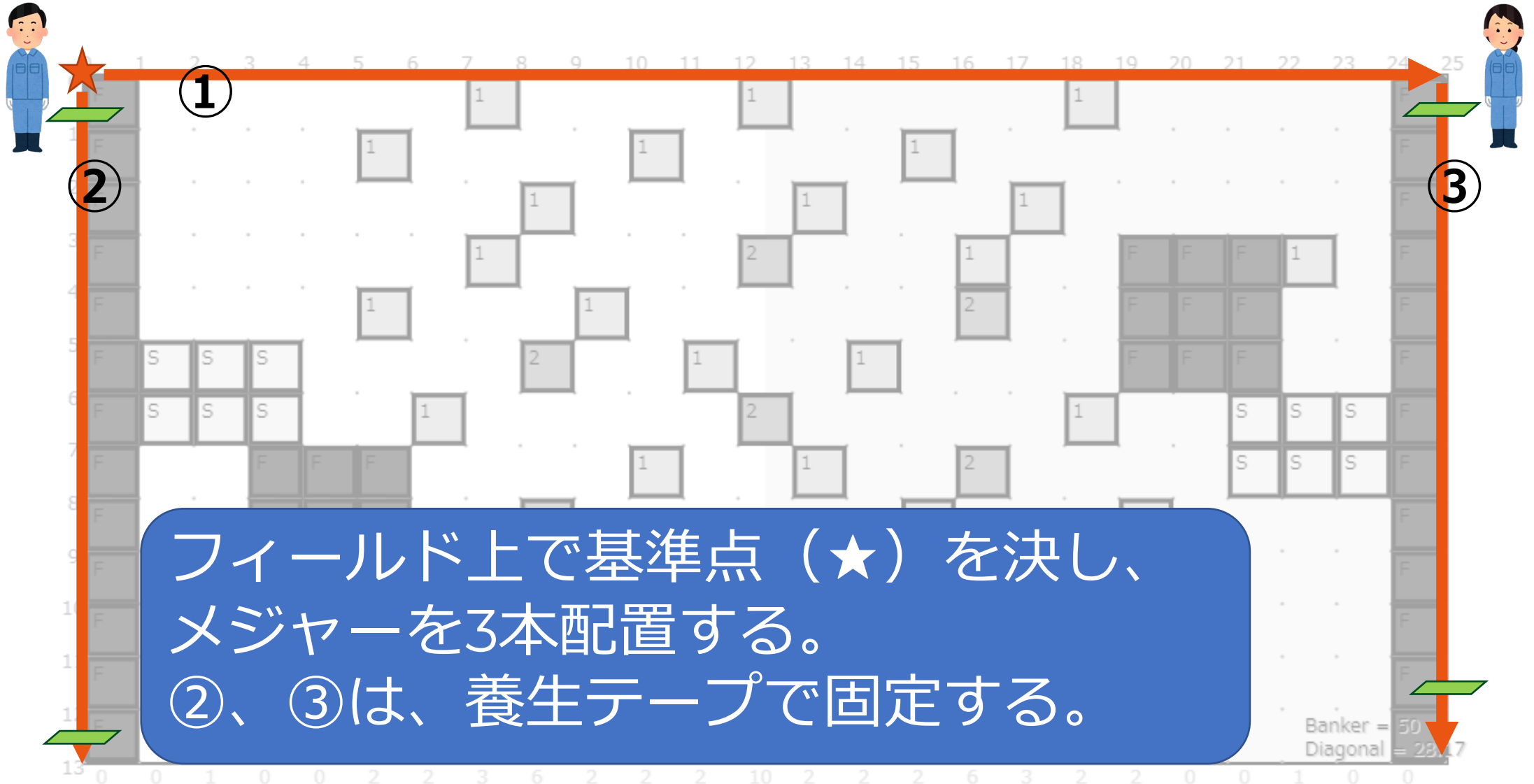
マップからのフィールドの設営方法



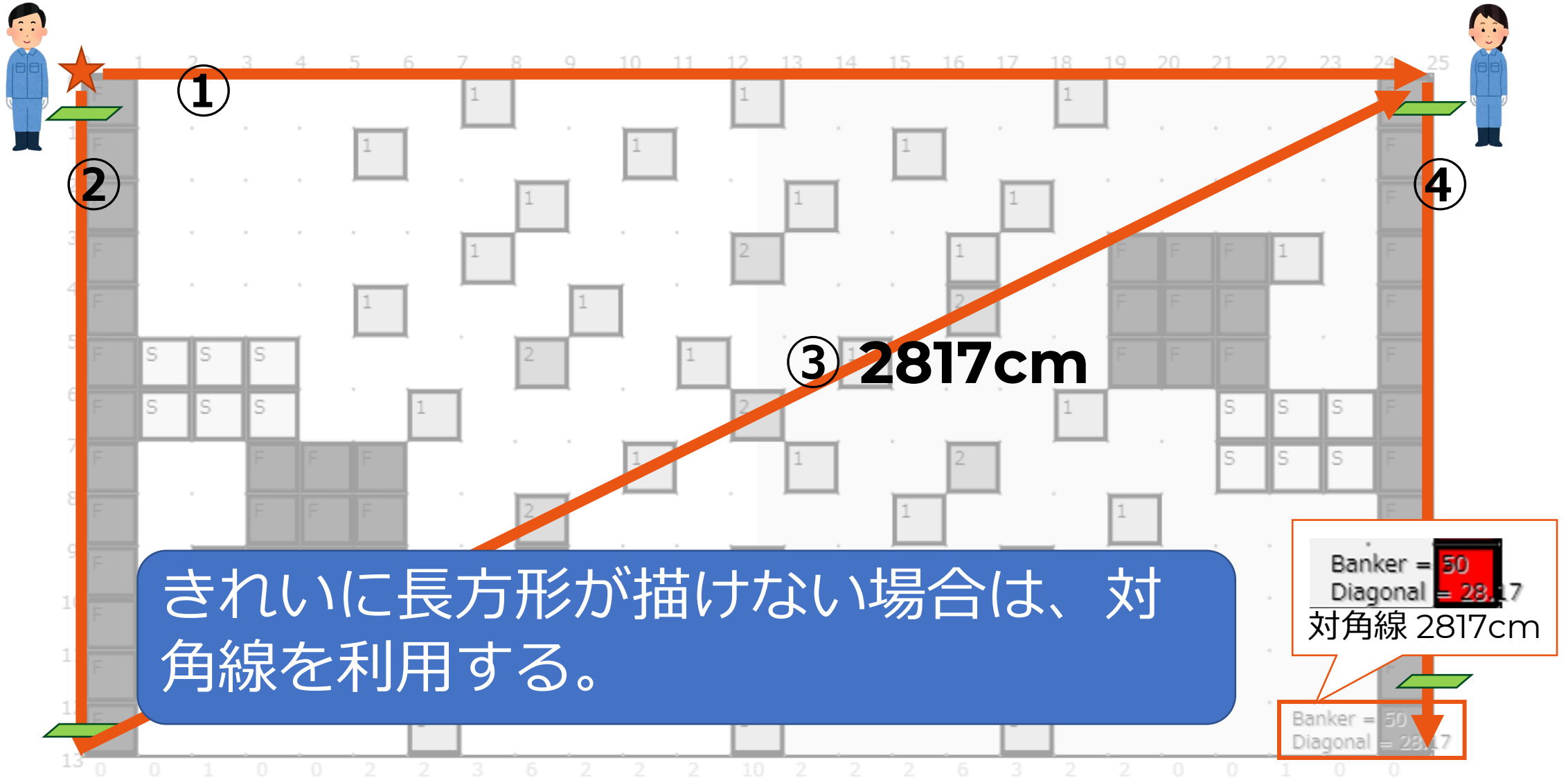
用具の初期配置



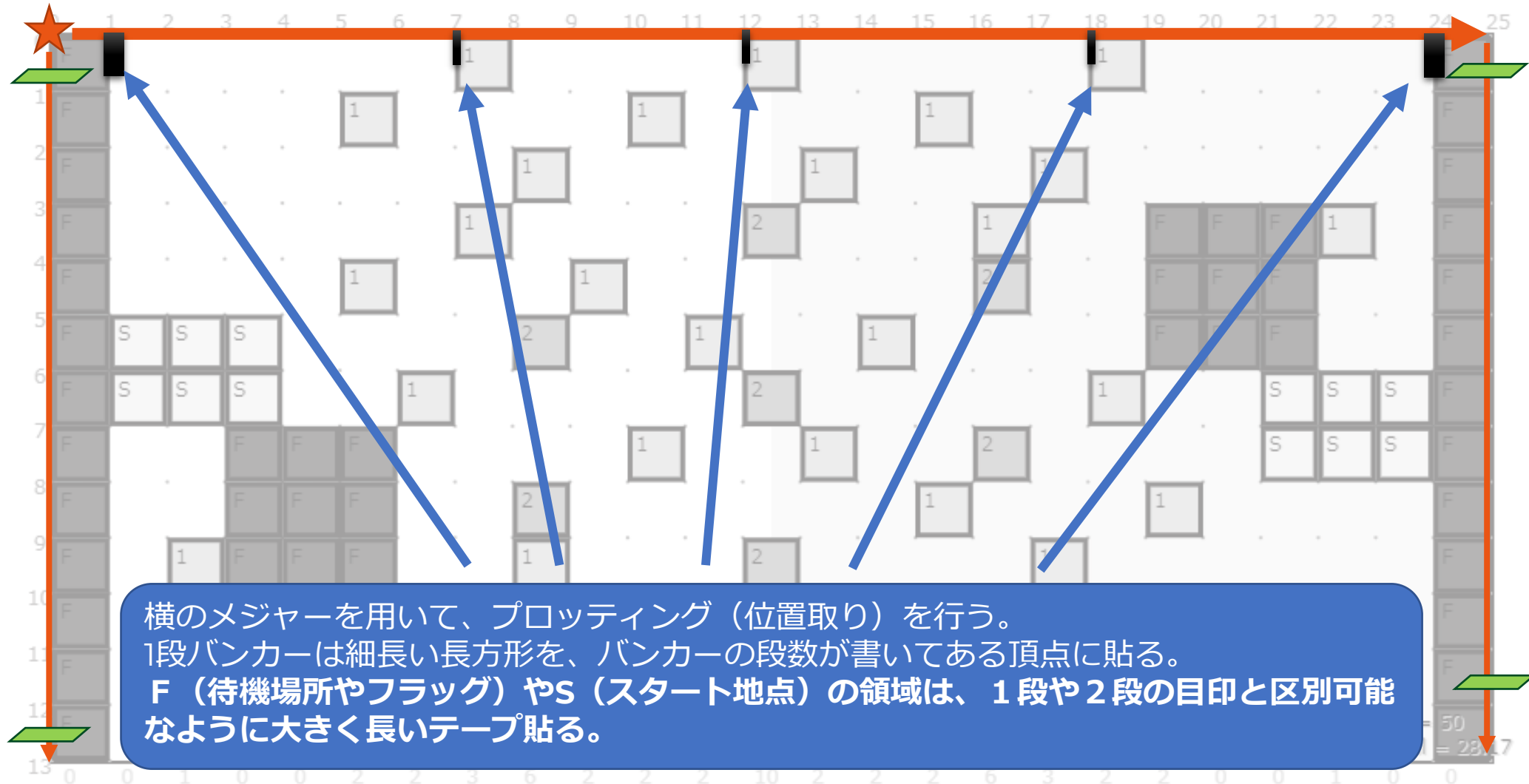
プロットイング（位置取り）開始 メジャーの配置（2名+）



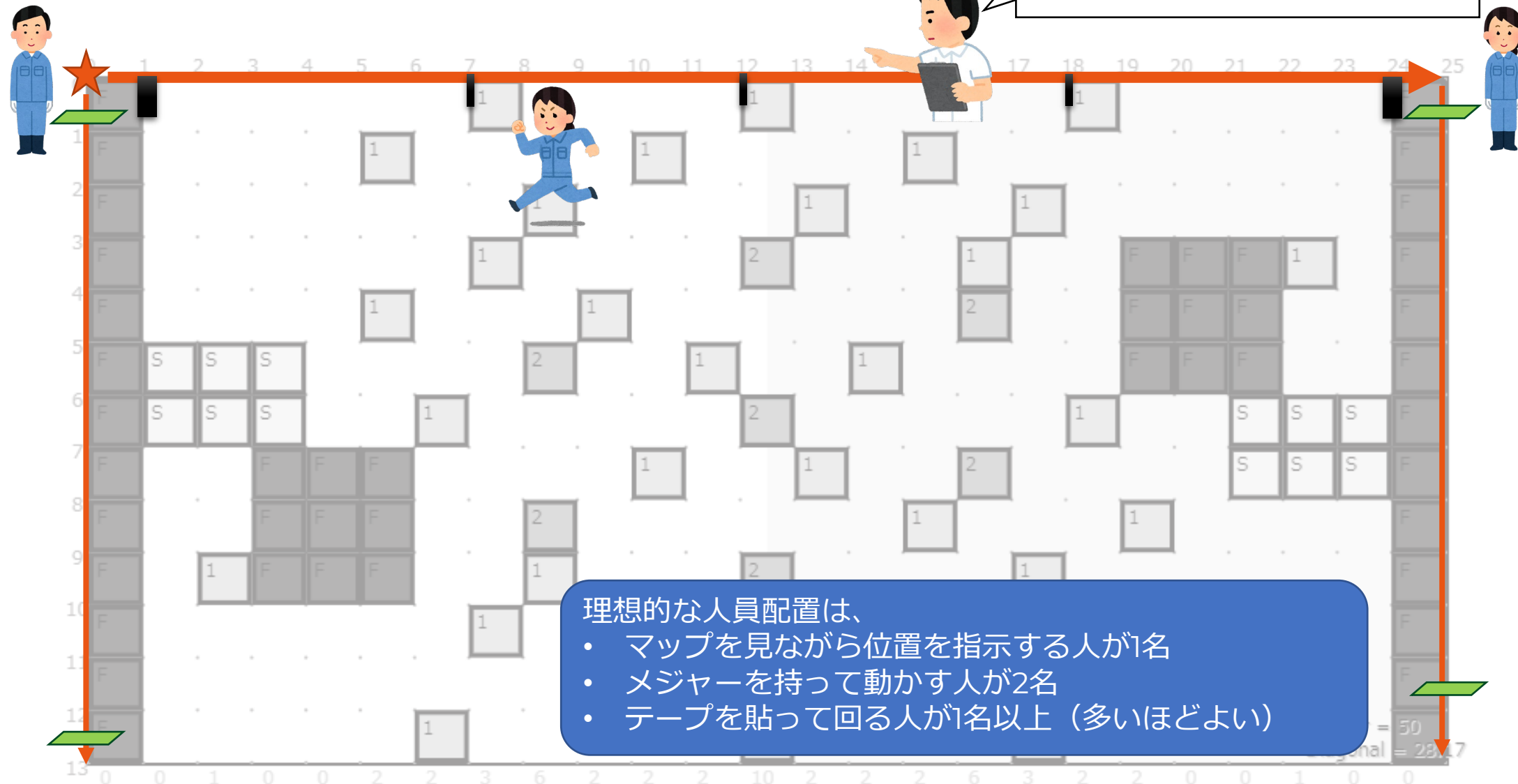
(任意) 対角線を用いる



プロットイング（位置取り）の開始

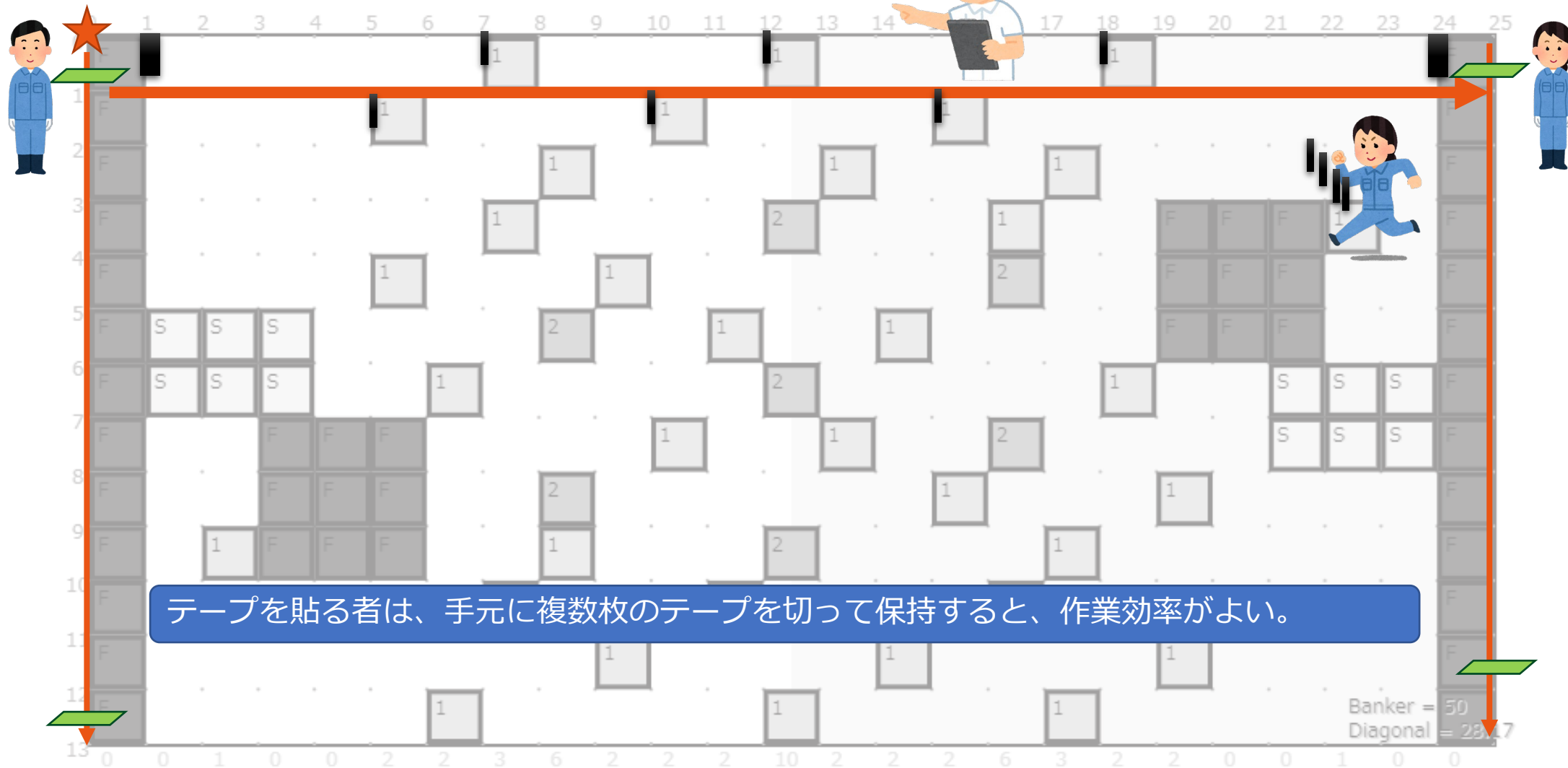


プロットティングの人員配置



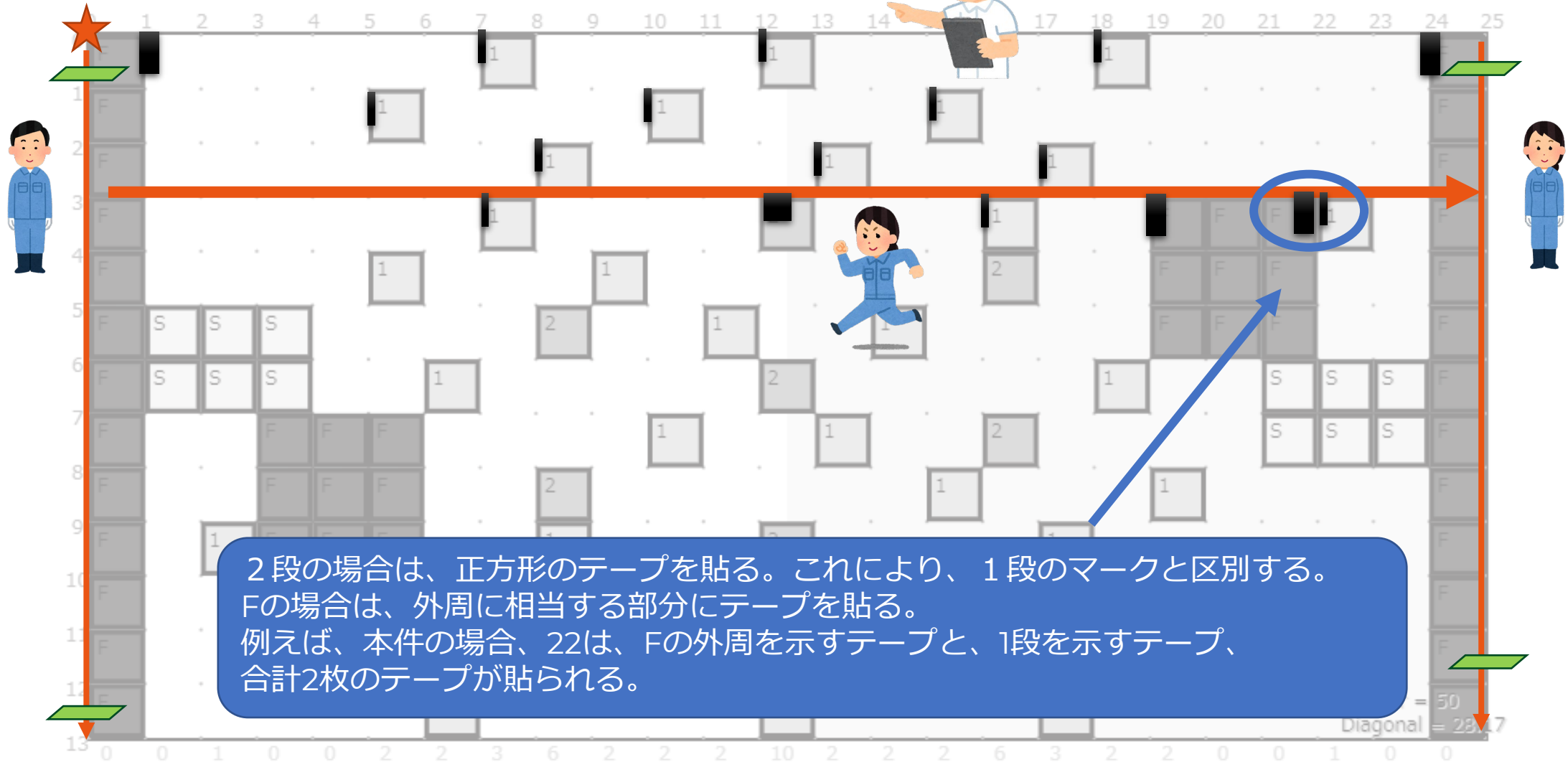
メジャーを移動し、テープを貼る

1mに進んでください
5, 10, 15が1段



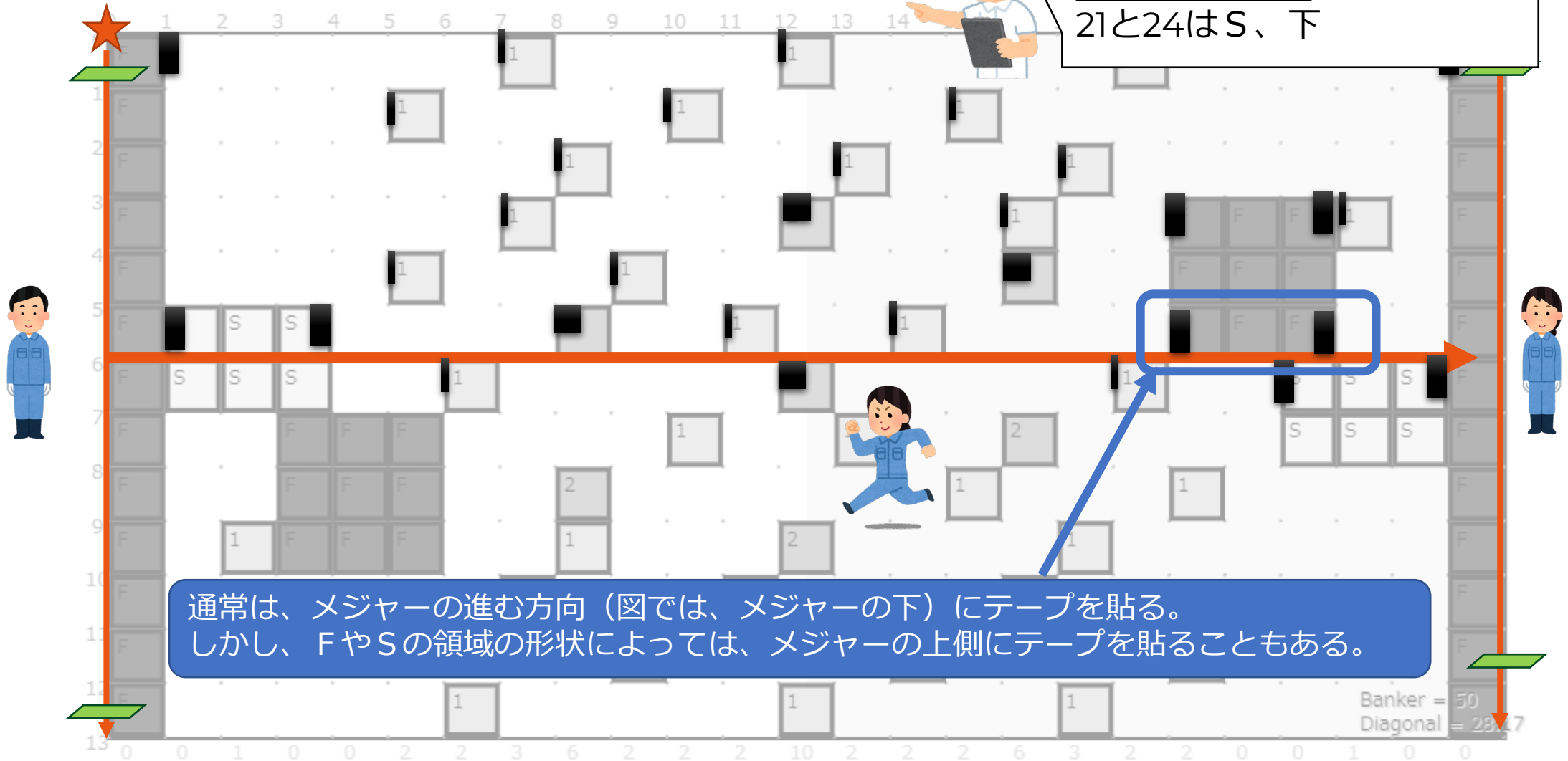
2段とF、Sの扱い

7, 16, 22が1段、12が2段
19と22がF



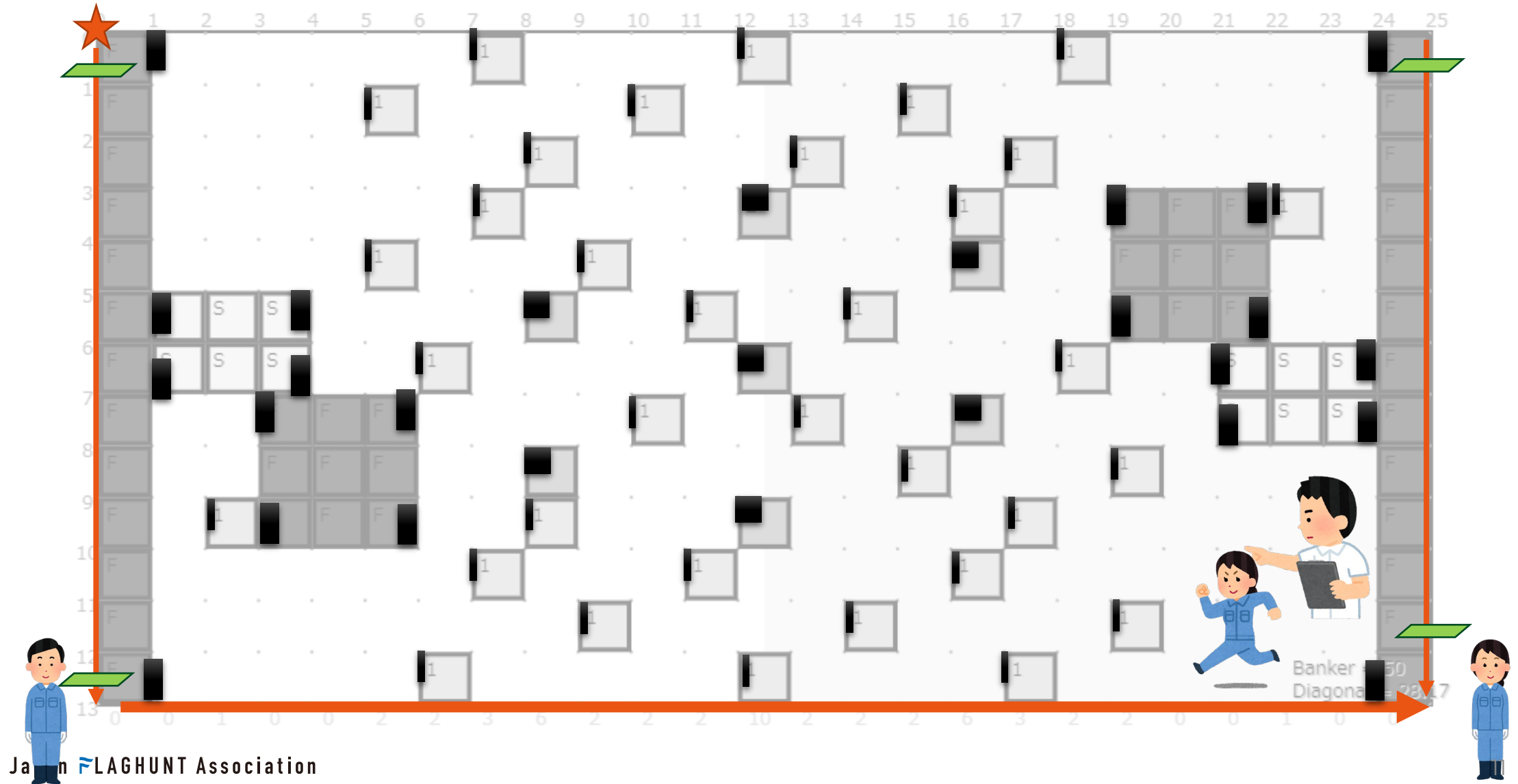
メジャーの上側に貼る場合

6メートルは、6と18が1段、
12が2段
19と22はF、上
21と24はS、下

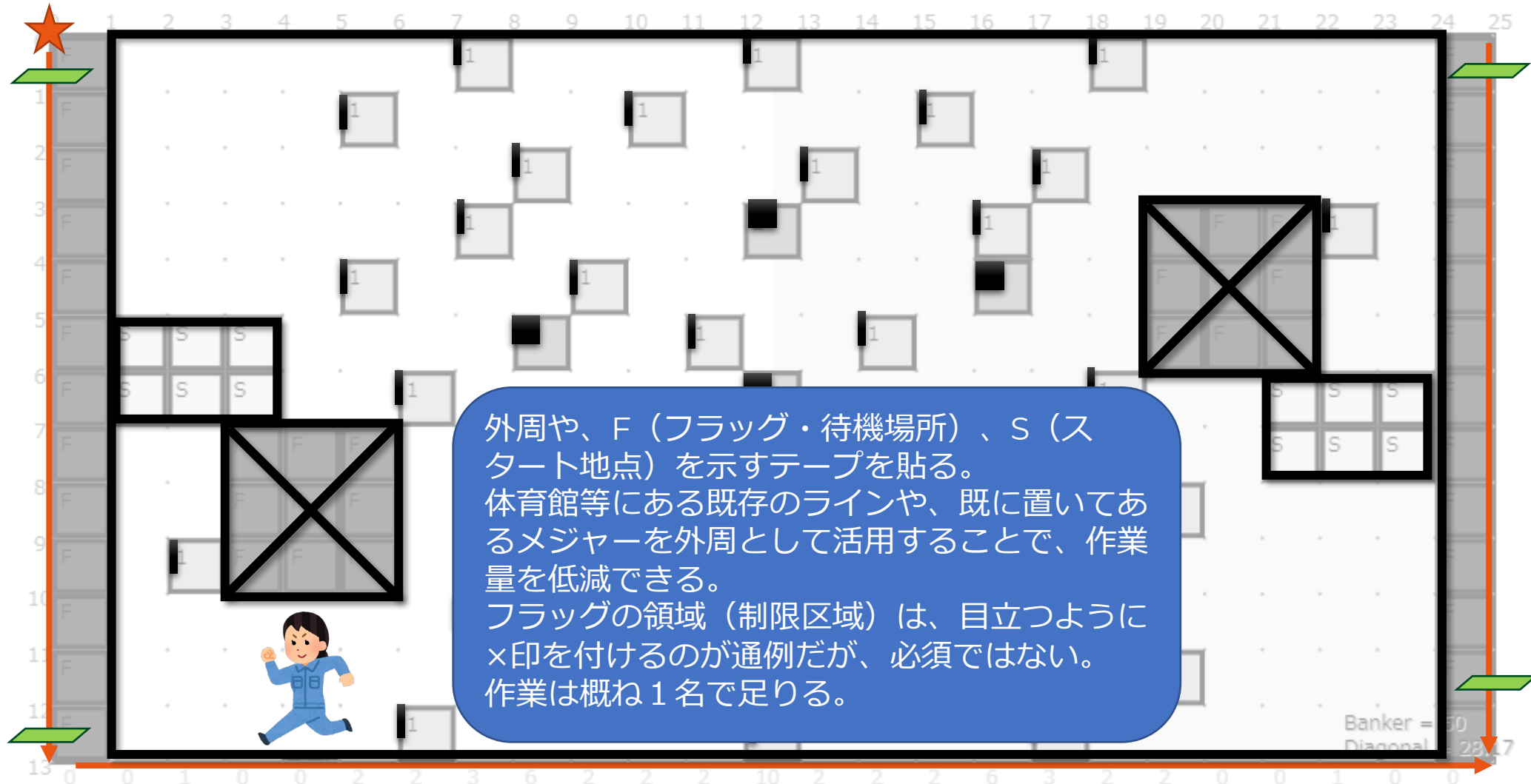


通常は、メジャーの進む方向（図では、メジャーの下）にテープを貼る。
しかし、FやSの領域の形状によっては、メジャーの上側にテープを貼ることもある。

プロットイング完了



分業① 外周、FやSの領域にテープを貼る（1名）

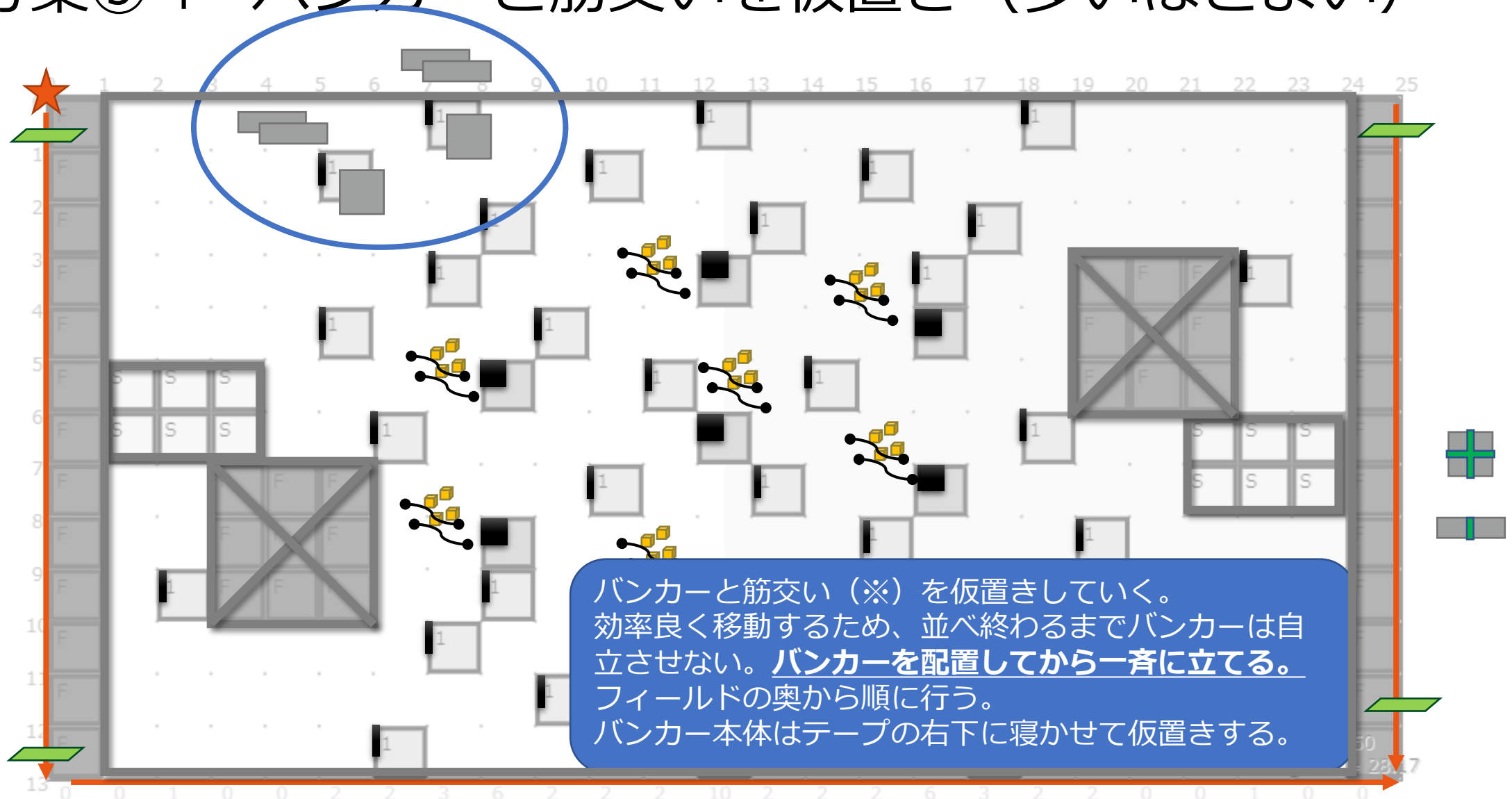


外周や、F（フラッグ・待機場所）、S（スタート地点）を示すテープを貼る。
体育館等にある既存のラインや、既に置いてあるメジャーを外周として活用することで、作業量を低減できる。
フラッグの領域（制限区域）は、目立つように×印を付けるのが通例だが、必須ではない。
作業は概ね1名で足りる。

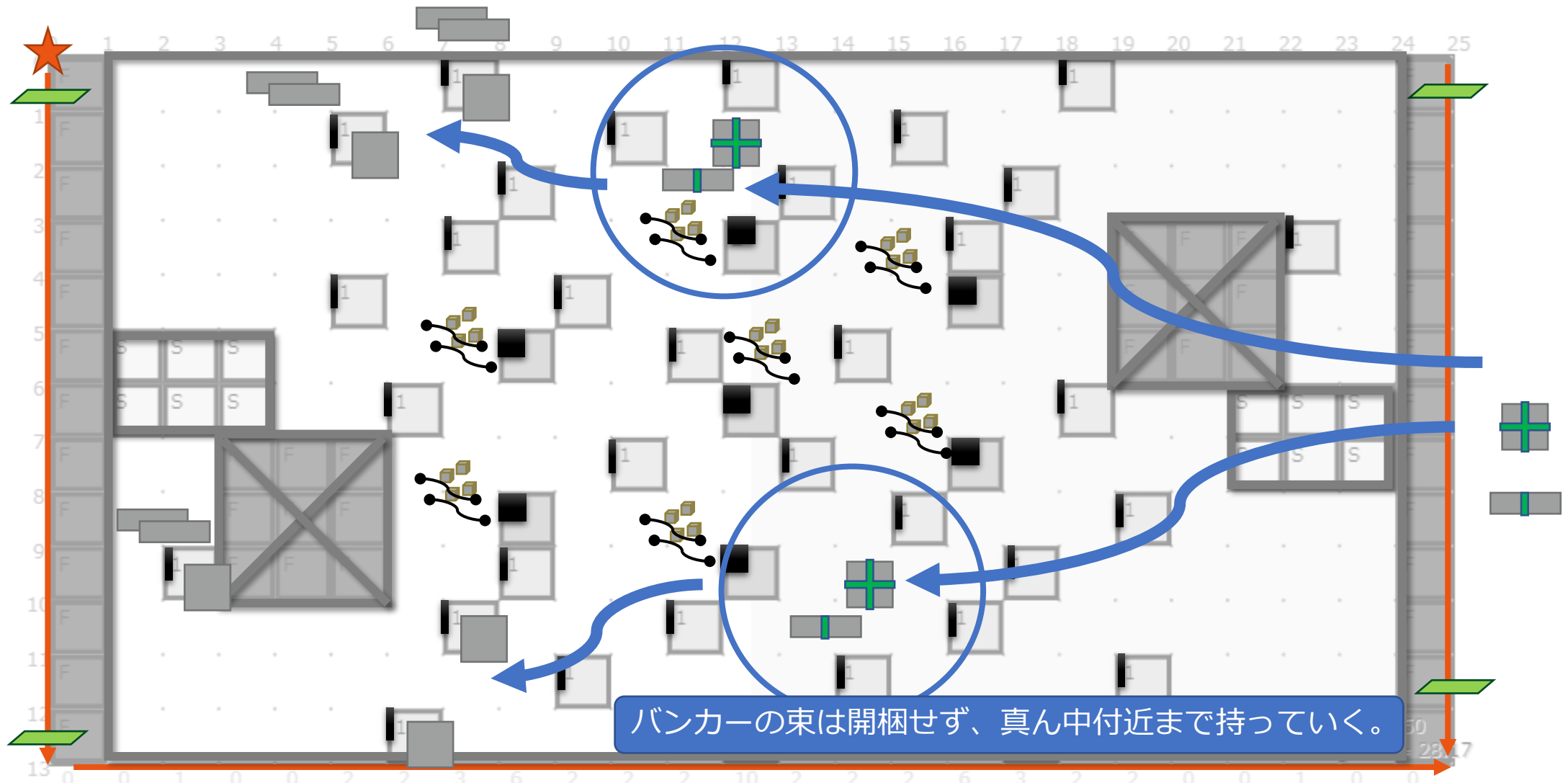
分業② 2段に必要な用具を配置（1名）



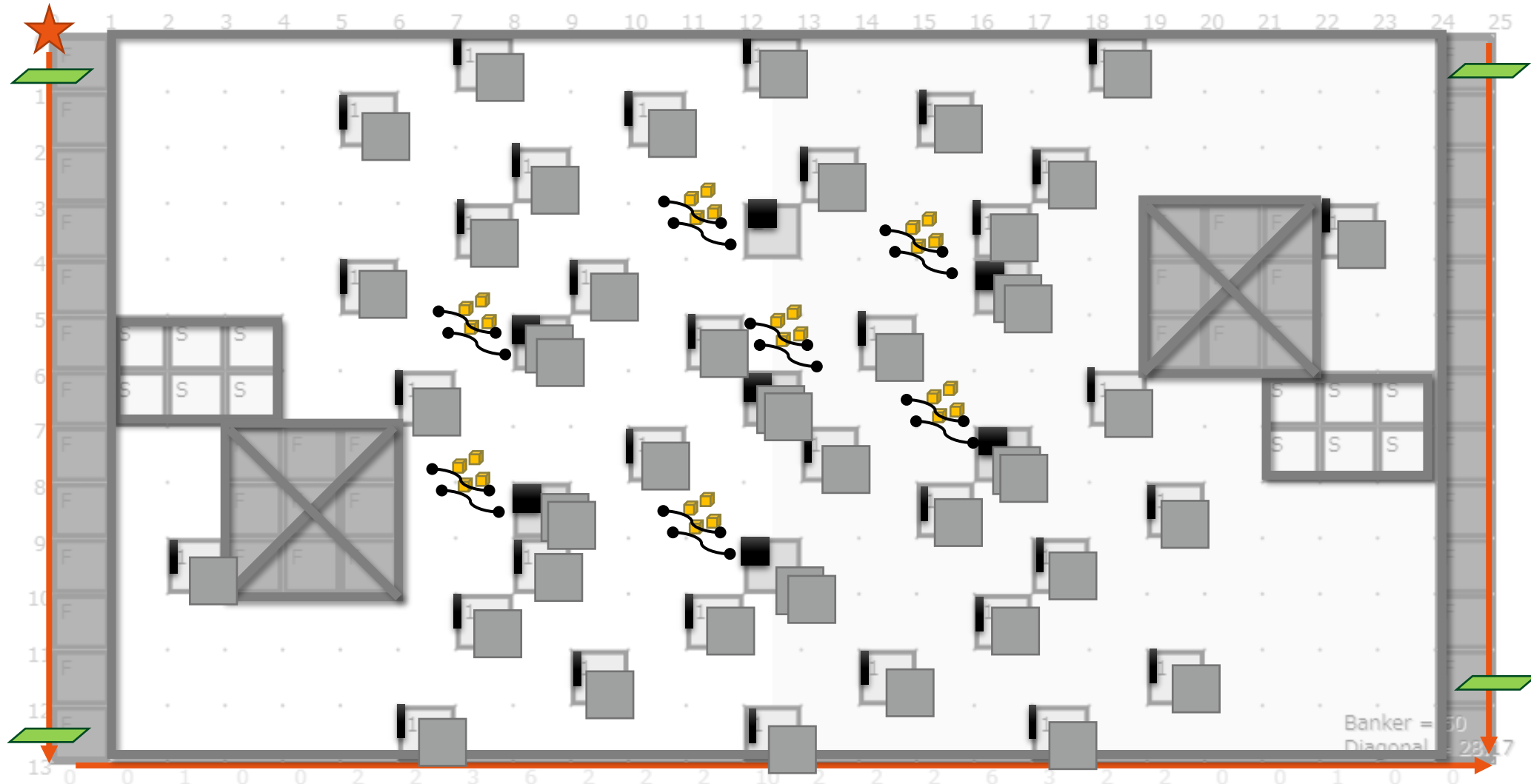
分業③-1 バンカーと筋交いを仮置き (多いほどよい)



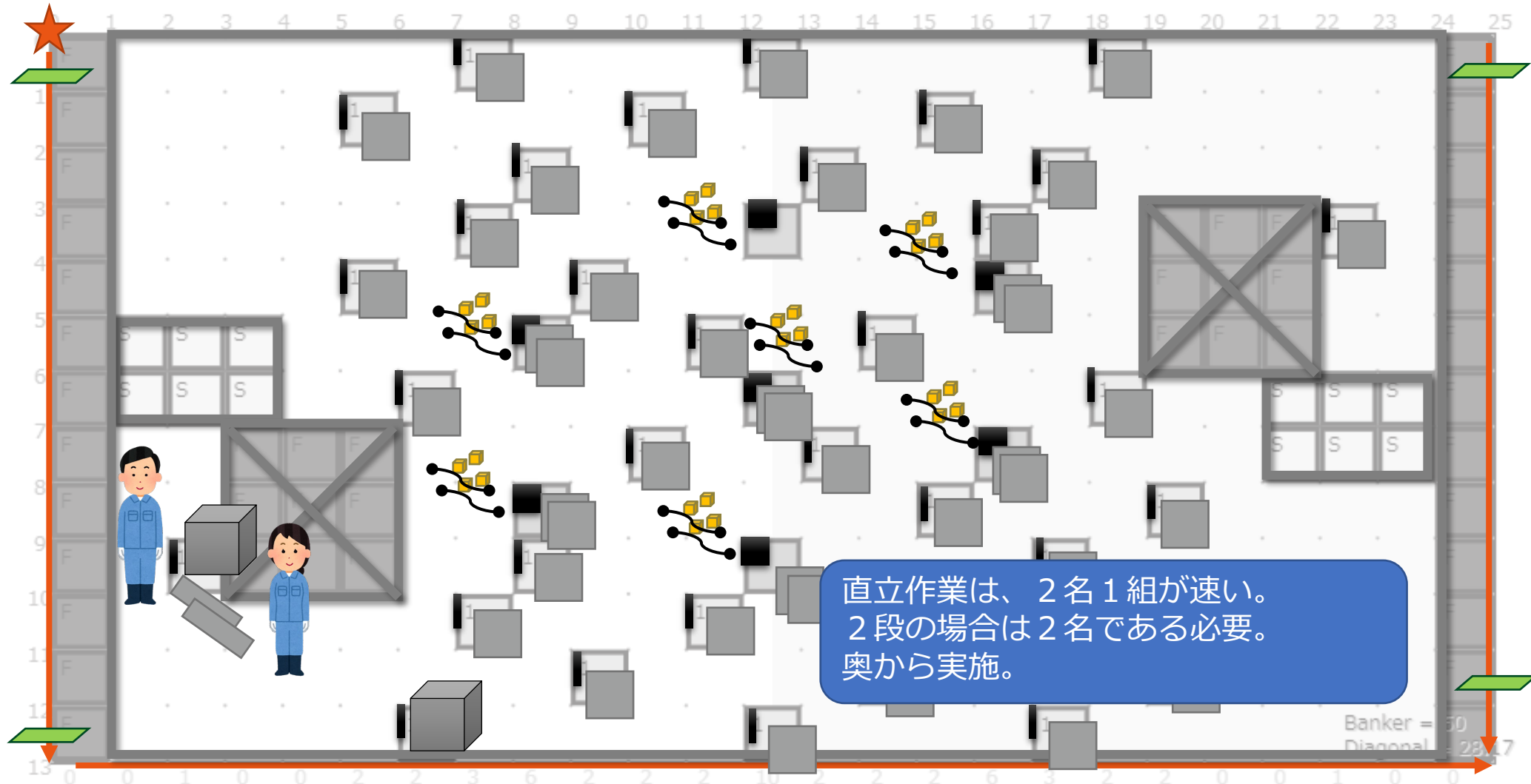
分業③-1 効率良いバンカーの配置方法



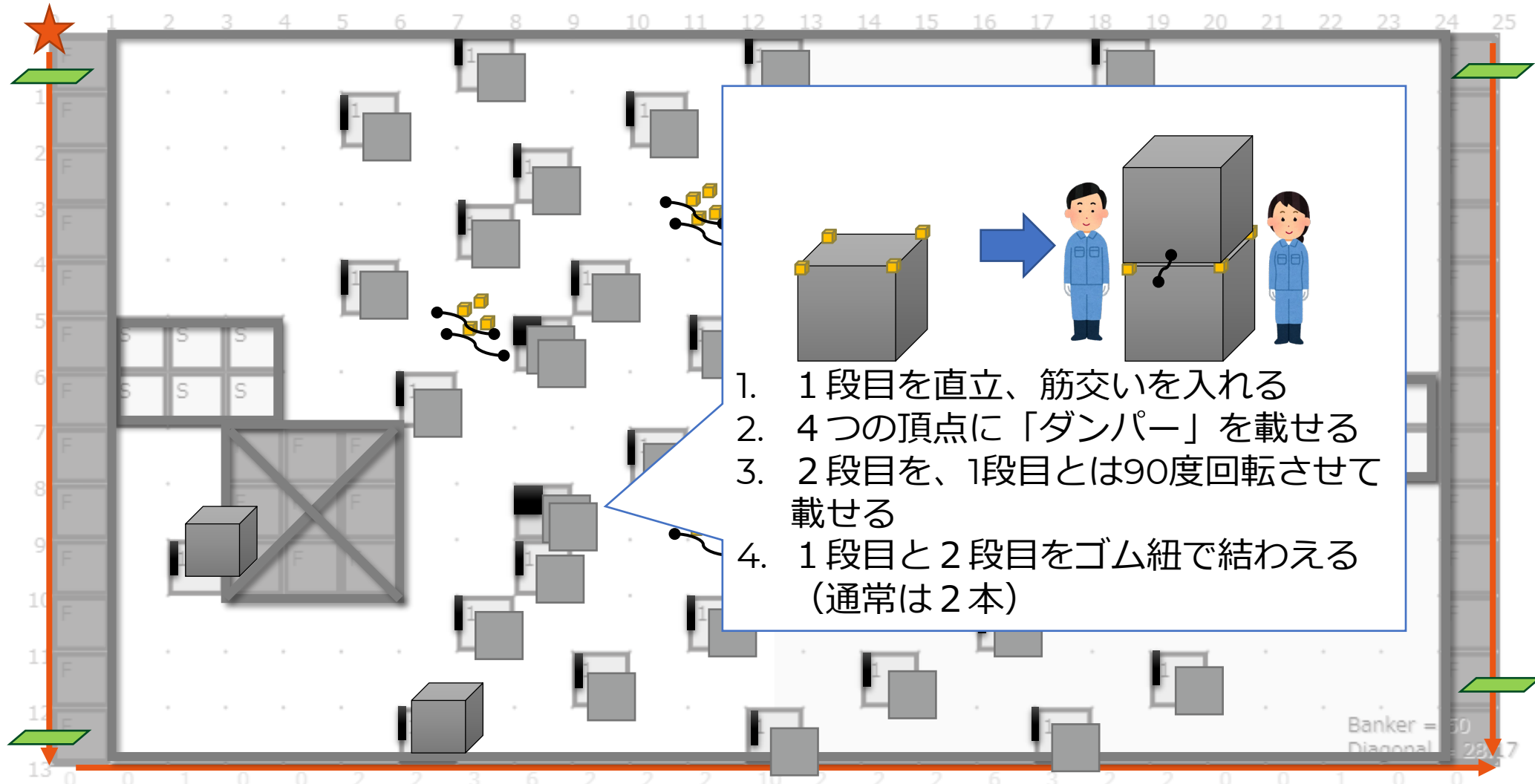
分業③-1 直立させる前—筋交いも置かれているが省略



分業③-2 直立させる—2名1組で



分業③-2 2段バンカーの立て方



1. 1段目を直立、筋交いを入れる
2. 4つの頂点に「ダンパー」を載せる
3. 2段目を、1段目とは90度回転させて載せる
4. 1段目と2段目をゴム紐で結わえる (通常は2本)

最終チェック - バンカーの個数をチェック

